

情熱の羅針盤

No. 9 (2023.10.30)

【探究祭&体育大会、お疲れ様！】

前期の最終日となった9月29日(金)に探究祭が、翌週の10月4日(水)には体育大会がそれぞれ行われました。三田祥雲館においては四大行事(1年次の場合はオリ合宿、祥雲祭、探究祭、体育大会ですね)と呼ばれているもので、特に探究祭は他の学校にはない祥雲館ならではのシンボリックな行事でもあります。みんなにとっては初めての行事だったので、もちろん参加はしつつも、先輩方をじっくり観察する機会になったかもしれませんね。

行事後のアンケートでは、「どれも勉強になった」、「先輩の発表を見て、自分も好きなことを探究したいと思った」、「2年後にこんな発表ができるようになるのが不安になった」といった感想もあり、いろんな意味での刺激を受けてくれたのではないかと思います。また、同日のプログラムだった「Share Our Experiences」のコーナーでは、プロジェクト探究やオーストラリア研修、国内研修参加者の報告会、そして白熱のビブリオバトルと、22回生が大活躍でした。笑いあり、真剣あり、そして興味のある2時間で、みなさんの知的好奇心が呼び起こされたのではないかと思います。ビブリオバトルで紹介された本を、早速探して行ったという人もいたようです。なお、ビブリオバトルで優勝したのは、『瓶詰の地獄(夢野久作)』という作品を紹介してくれた5組の小田 帆菜さんでした。おめでとう！

また、体育大会では、入賞こそできなかったものの、先輩方に隠すことなく真剣に競技に取り組んでいる姿が印象的でした。もちろん、中には上級生に冷や汗をかかせるほどの健闘を見せてくれた種目もあり、来年度が楽しみになりました。もちろん、来年度目指すは1~3位の独占です！

まあそれはともかく、ほぼ制限なしのフルサイズの体育大会が行われたのは、実に数年ぶりでした。ここ数年、何らかの制限や規模の縮小を余儀なくされていた中で(もちろんそれは生徒を守るための措置でもあったわけですが)、今年から「本来の形」に戻ったというのは、私たち22回生にとっては幸運なことだと言えます。

キミたちの中学校生活はまさに行事も学習も、給食でさえ規制や遠慮の連続だったと思いますので、高校生活ではできるだけそういった窮屈な思いをしてほしくないなと思っています。

そのためには1人ひとりが体調管理や感染防止対策をしっかりやることも大切ですし、いろんなことものに積極的に参加していく姿勢も大切です。今後、1つひとつの瞬間を大事にしていきましょう。何かのイベントが終わった時、1つの年次が終わった時、そして高校生活が終わった時、「自分はやりきった！」と言えるような毎日を積み重ねてほしいと思います。秋の行事、どちらもお疲れ様でした！

【模試が近づいて来た！】

11月3日(金)に、総合学力テストが行われます。既にクラス掲示もしてもらっていると思いますが、時間割は次のとおり。

- 0. SHR・点呼 8:30~
- 1. 国語(80分) 8:40 ~ 10:00 (4 漢文を選択)
- 2. 数学(100分) 10:10 ~ 11:50 (選択は自由)
- (昼食) 11:50 ~ 12:35 (他の年次とは時間帯がずれているので黙食で！)
- 3. 英語(80分) 12:40 ~ 14:00 (1 リスニングを選択)※部活動に遅刻

【これもしつこいですが注意事項】

- ・目標点の入力は本日まで
- ・教室の時計は外します。腕時計の準備を(スマートウォッチは×)
- ・昼をまぎさず。昼食の準備を
- ・バスや電車で通学している人は、休日ダイヤに注意する
- ・問題冊子に、できるだけ答えを記入しておく(時間が足りない場合はもちろん解答優先で)
- ・帰宅後は自己採点を
- ・翌週に受験する者がいるので、問題・解答に関する話題をSNSや公に出さない など

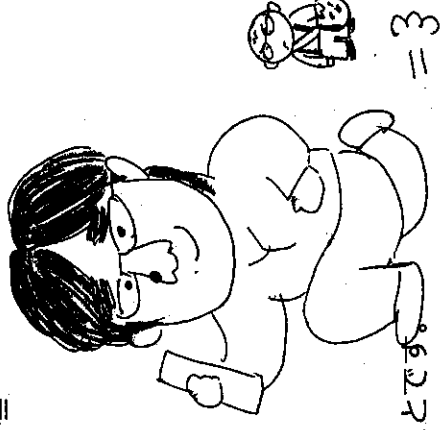
さて、先日の年次集会であった各教科のアドバイスを、覚えていますか？ もちろん覚えていたとしても、あれら全部を念頭に置いて受験するというのは難しいかもしれませんが、自分にとって特に大切そうなものや、得点に直結するようなのは絶対に忘れず実行したいところですよ。(Becauseで減点されないように、とかね)。みんなの健闘を祈ります！

【年次集会で言おうと思っていたこと】

10月25日の年次集会で、もし時間があれば話そうと思っていたことをここに記しておきますね。

毎日が忙しくてタフな高校生活ですが、そんな中でもいろいろな活動に積極的に参加している仲間がいます。例えば探究情報部が主催する行事に参加したり、校外でのビブリオバトルに参加したり、英検やスピーチコンテストにチャレンジしたり、ハニーマーFMに出演したり、等々。とても嬉しいことですよ。日々の学習で精一杯だ、というのもちろん分かっていますし、部活動が忙しくて他のことまで手が回らない、という人もいます。ただ、これから年次が上がるにつれて、学習の比重はどんどん大きくなってゆきます。部活動でも責任ある立場になるという人もいます。そう考えると、1年次というのは実は最も時間的なゆとりがある1年間でもあるんですね。

大学受験では、面接、志望理由、活動報告などで高校生活を振り返るという場面がたくさんあります。そんな時に、何かに挑戦したことや成長できたこと、どこかに参加したことや学びがあったこと、そういうことを言うのはとっても強みになります。進路のために…というわけではないけれども、自分の高校生活にプラスαをしてみようかな…といったことを今のうちから意識するのも良いと思いますよ。



年次リレーコラム・「あの頃ぼくらは」特別編～教育実習の先生方登場～

今、高校生である皆さんと接している教育実習の先生方も、かつては祥雲生だった…。その頃を振り返りながらこれと語っていきリレーコラム。今回は特別編として、10月23日から教育実習を始められた3名の先生方のコラムをお届けします。※10250年次集での自己紹介より転載している場合があります。



みなさん、こんにちは。16回生の畠中郁香です。このたび、11月10日までの8週間、教育実習をさせて頂きました。担当教科は英語で、担当クラスは1年1組です。

4年前に、三田祥雲館高等学校を卒業していたため、懐かしの母校で実習させて頂いたことを大変嬉しく思います。そんな私は、在学時は吹奏楽部に所属していました。昼休みも放課後も楽器の練習に励んだり、多くの方々と関わったりすることができ、とても楽しい高校時代でした。

そして現在、関西大学文学部で、英米文学を専攻しています。中学から高校時代にかけて、「英語が好き」という思いはあったものの、英語を通して何を学びたいのかは自分でもよく分かりませんでした。けれども、高校1年の進路選択の際に、英語だけでなく、心理学や教育学などの「人に関する学問」を幅広く学びたいと感じ、人文学科全般を学ぶことができ、関西大学文学部を選びました。いろいろな迷いがありましたが、自分なりに将来について真剣に考え、決め、受験に向けて頑張った経験は、今でも大切な思い出です。

今回皆さんと関わることを通して、生徒との関わり方や英語を学ぶ楽しさを感じてもらえらるよう授業の仕方を学びたいと思います。8週間、よろしくお願ひします。

初めまして。大阪教育大学から来ました16回生の横山綾乃です。数年前までは皆さんと同じ制服を着て座っていたのに、こうして教育実習生として皆さんの前に立っているのはとても不思議な感じがします。初日、4組で自己紹介と挨拶をするとき、職員室で挨拶するよりもとても緊張しました。(笑)教科は音楽です。音楽の先生と言えば、ピアノと歌が上手なイメージがありますが、私はどちらからも自慢できるものではないです…。

部活は吹奏楽部に所属し、フルートを吹いています。今も大学で専門的に学んでいます。

高校時代、1年生の頃は国語の先生になるうと思っていました。しかし、部活で吹奏楽に打ち込んでいくうちに、私が本当にやりたかったのは音楽だと思ふようになりました。

音楽を続けたいと思っただけで生活することが難しいという理由で、自分の中で音楽を続けたいという気持ちに蓋をしてしまいました。しかし、一度きりの人生なのでここで音楽をやめたら絶対に後悔すると思ひ、音楽で大学に進学することに決めました。皆さんはまだ1年生ですが、将来のことに悩む時が来ると思ひます。もしもしたらもう悩んでいる人もいるかもしれませんが、現実的に考えることも大切で、でもそれと同じくらい、自分がやりたいこと、ワクワクすること、大好きなことを優先する気持ちも大切です。

私は、高校で出会った部活の友達や、親身になって考えてくださる先生方のおかげでその選択ができました。皆さんも、勉強や部活、行事に積極的に取り組み、自分が何をしたいのか、何を大事に生きたいのかを見つけれられる高校生活にしてくださいね。



22回生の皆さん、初めまして！大阪教育大学から参りました、松井朝子と申します。担当教科は音楽、担当クラスは1年6組です。授業で関わるのは音楽選択の人だけになってしましますが、8週間どうぞよろしくお願ひいたします！

私は祥雲館の16回卒業生なので、思い出の詰まったこの場所で皆さんと一緒に学べることを嬉しく思っています！高校時代は吹奏楽部でトランペットを担当していました。ここでの部活動で熱意ある仲間や先生と出会ったことで、もっと音楽を続けたいと考えようになり、今の大阪教育大学音楽表現コースへの進学を決めました。教育大という名前ですが、私の所属するコースは音楽実践に特化したコースなので、主にトランペットの演奏技術について学ぶ日々を送っています。

皆さんはまだ高校1年生。進路についてはまだまだ考え中の人がほとんどかと思いますが。私も志望大学を決めたのは3年生になる直前の頃でした。皆さんには、とにかく今しかかない高校生活を目標にっばい楽しんで過ごしてもらいたいです。私も、部活動を目指しっばい楽しんで取り組む中で、自分の本当にやりたいことを見つけ、それが進路へと繋がっていききました。もちろん部活動だけでなく、とにかく勉強を頑張ってみることも一つですし、行事を全力で楽しんでみるのも一つです。自分が、「あ、これ好きかもしれない」「これをやっていると今の自分が好きかもしれない」と思える瞬間に出会ったとき、その直感を大切に目の前に一生懸命に頑張っていることが、のちの自分へと繋がっていくのではないかと思います。

もうすぐ11月。少し前まで驚くほどの暑さが続いていたのに、気が付けば秋も深まってきました。皆さんも体調には気を付けて、一緒に実りある日々を過ごせたらなと思ひます！改めまして、短い間ですがどうぞよろしくお願ひいたします！



いかがでしたか？皆さんにとっては、先生でもあり同時に祥雲館の先輩でもある3名の実習生たちのコラムとあって、オモテ面の記事よりもずっと関心を持って読んでくれたことと思います。

先日の年次集会での自己紹介もそうでしたが（とっても素敵なお話を聞きました！）もっと聞きたかったですねえ）、実習生の先生方のことは高校を卒業した後の先輩だからこそ言えること、現役大学生だからこそ伝えられる思いがあるものだなと感じます。実習期間はとも限られた時間ではありますが、積極的に話し掛けてみてください。きつといるいろいろとお話をしてくださるはずですよ。

また、1年次の授業・クラスには入れませんが、2年次で実習をされている新谷梨織先生（教科：国語）ももちろん祥雲館の16回生です。新谷先生はチアリーディング部のOGでいらっしやるそうなので、部活動つながりで話し掛けてみるのも楽しそうですね。

いつでも、人との出会いを大切にできる先輩でいてください。(特別編：終わり)

